

平成 27 年度町政懇談会記録（要旨）

開催日：平成 27 年 11 月 14 日(土)

開会：午後 1 時 28 分 閉会：午後 3 時 10 分

場所：笹尾西二丁目集会所

参加者：男 23 人、女 10 人 計 33 人

町職員：町長、副町長、総務部長、財政課、町民課、政策課

《 懇 談 》

男性 ふるさと納税の話が NHK であったんですが、東員町は 1 年間で 1 件 10 万円で、玉城町は億ほどあるという話だったのですが、玉城町は、豚を使って若い人たちが開発して特産品を作ったという話がありましたが、先ほどの町長の特産品の話と同じで、関心をもってもらう話と一緒に何もなければ関心をもってもらえないのかなと思いましたが、いかがでしょうか。もっとマスコミを使うのもいいと思います。新聞もそうですが、東員町の話は少ないと思います。外向けの PR をしながら、コスモス畑も話題ですし、どこにも流れてない、いなべ市は結構流れますしテレビを活用したらどうかと思います。東員駅前の畑は農地で調整区域だからどうしようもないのかもしれないですが、何とかならないのかなと思います。今の町長の話もありましたが、町でお金を落とすと言われても買う場所がなければ仕方がないので、そういう場所も必要ではないかなと思います。我々町民も町も考える必要があるのではないかなと思います。

町長 東員町は PR が下手だと色々な場所で言われています。いかに PR するかが重要ですし、これは今みんなで考えて何とかしないといけないと思っています。それから東員駅周辺を何とか開発したいとは、前から思っていますが、あそこは農振農用地で色々な規制があります。何年も前から知事はもちろんですが、東海農政局や国土交通省にも行きました。色々手を尽くしていますが、なかなかその規制をはずすというところまでいっていません。鉄道の役割は駅の周りに人がいて、電車に乗ってもらい移動の手段にしてもらうことですので、東員駅の周りに何もないというのは鉄道の役割としておかしいのではないかという話もしています。今そういうことでなんとか規制緩和に向けて努力をしていますが、なかなか見えてこないのが現状です。地域の方には、地主さんではないですが、協力しますとは言っていますので、その前に規制をなんとかする課題があります。それからふるさと納税の話ですが、私はふるさと納税と特産品の話は別に考えたいと思っています。ふるさと納税は私の考え方で申し訳ないですけど、ふるさと納税をもっとやるよという考え方はもっていません。なぜかという、東員町から大都会に出た人が東員町はこれから財政も厳しくなるから

寄付という形で納税するのがふるさと納税の考え方なんです。ところが今のふるさと納税はカタログショッピングです。どこにどんなおいしいものがあるのという競争になっています。最初の趣旨は忘れられていて、我々でもどこへでも寄付できるんです。例えば私が10万円寄付すると5万円の物が手に入ります。東員町はというと、本来なら10万円入るものが、2,000円しか入らないんです。あとはどこへ行ったのかというと個人の方が儲かるんです。地方には5万2千円しか入らない。国全体からいっただら、地方自治体へ入るお金は確実に減ります。私はこういった制度は、国は推奨していますが、私は国を減ぼす悪法でないかと思っていますので、ふるさと納税には力を入れるつもりはありません。ただ、特産品づくりとか、PRする手段については、絶対考えていかなければいけないと思っていますので、よろしくお願ひします。

男性 納税は手段であって何をするかということ、話題を作るということは大切だと思います。特産品を作ることは、現状必要だと思います。

男性 今お話を聞いて、すぐにアイデアは出ないので、こういう話し合いが持たれて次何かの会議のときまでと期間を置いていただいたら考えも出てくるかもしれません。こういう話し合いが持たれるのは一つのいい機会だと思います。私も温泉とかがある地方に行くこともあり、温泉が栄えるところには人が集まります。ああいう施設が一つあるとかはいいかと今思ったのですが、お金もかかるかもしれませんが、できるだけ負担の少ないような形で成功すると思います。またテレビなどで取り上げられると人も集まりますし、職員でもアイデアを持っているような方もいるかもしれませんので、そういう方から提案もいただきながら、こういった話し合いの場を持たれるのはいい機会だと思います。

町長 また今日家に帰ったらひらめいたということがあればおっしゃっていただいたらいいかと思います。温泉については調査したことはあります。東員町どこを掘っても50度のお湯はでます。ただし、かなり掘らなければいけないとは思っています。私が入る前にこんなことをやったらどうかと調べたそうですが、あまり結果はよくなかったみたいです。

総務部長 以前、東員町も温泉がどうかという話もありまして、記憶ではどこも出るのは間違いないのですが、少し温度が足りなくて沸かさないといけないとかいう話も聞いてます。それと、投資効果の割に合わないという結果も出てあきらめたということもあります。

男性 東員病院の前の造成地ですね、あれはいまだに処理されていないので、企業や住宅団地とかを誘致するとかそういう方法はないのですか。マイナンバーの件で、住民基本台帳カードとの関係はどうなるかということをお聞きしたいです。

町長 ハイブリットパークについては、民間なんですね。あれは不動産会社の土地で開発許可も下りています。こういう形で工業団地にしますよと許可が下りているんですが、その許可に基づいた形に工事ができていないんです。あそこへいくつか企業を紹介したことがあるんですが、県でストップになるんです。なぜかという、許可に基づいたことをしてから企業を持ってこいと言われるので、企業は待つてはられないのでどこかへ行ってしまいます。個人の土地で我々がするわけではないので、なかなか難しいです。マイナンバーは町民課からお答えします。

町民課長 マイナンバー制度についてなんですが、住基カードは今町内で 600 人ほどの方が持っていますがあまり普及されず、電子申告するとか、特定のメリットしかなかったのですが、通知カードは日本国内すべての人に送られます。通知カードを個人番号カードに切り替えた場合、プラスチック製のカードが発行されます。それと住基カードは交換となり、併せ持つことはできません。ただ、通知カードがあればご本人の番号はお示しすることができますので、住基カードと通知カードを持ち続けることはできます。ただ、個人番号カードをご希望されれば、これは任意ですので、住基カードはお返しいただくこととなります。

男性 前の佐藤町長さんのときにまちづくりのアンケートをされたと思いますが、その結果が出ているのであればお聞かせいただきたいのですが。

政策係長 総合計画を作るときにまちづくりアンケートをさせていただいていますが、それは平成 20 年くらいにさせていただきまして、総合計画が始まって今年が 5 年目になりまして、中間の期間ということで、先月まちづくりアンケートを 3,000 人くらいの方に無作為で送らせていただきました。その集計は今取り掛かっておりますのでまだできておりませんもので、結果が集計できれば、ホームページで公表させていただきます。また町民の方に参加いただいている会議でも結果を評価する作業もさせていただきます。

男性 コスモス畑がありますがあれはとても気に入っているんですが、今大豆とかやられている場所がいっぱいありますよね、あそこを利用して年がら年中東員町は花の町だというふうにアピールして外から来てもらってお金を落としてもらうような方法はできないのでしょうか。

町長 転作作物は決まっていますので、その中で所有者の方に選んでやってもらっています。今は営農さんにやってもらっているところが多いのですが、その方々と話し合いをしながら、見せるものができるのであれば検討させていただきたいと思います。

男性 コスモス畑も確かにいいかもしれませんが、東員町だけではない。マスコミが注目するには東員町だけにしかないものがあると思います。東員町には何も無いとおっしゃっていましたが、先ほどお話のあった東員町の男性の健康寿命はアピールできると思います。他にやっていないけど、ここだけでできるものをとらえてみるのはマスコミにアピールできると思います。色んな地域でやっているものではなく、東員町にしかないものを見つけましょう。

町長 男性の健康寿命なんですが、三重大の学長にお話しして、これを調べてくれないかと提案しました。ここに学生が入ってくれるのであればそれこそマスコミに東員町でこんな研究が始まりますとのせてもらえたらいいなと思っています。そんなことを一つ一つ地道に重ねていきたいなと思っています。

女性 道路の桜の植え込みのことですが、東は植え込みがなくなって、学生にとって良くなって良かったと聞いたんですが、西はいつ頃になるのかということ、私はここに来て 15 年ほどになるんですけど、その時は東員町に大きな目玉があるわけではなかったのですが、東員町は安全安心で、若い人達がサラリーマンであっても住みやすい町で東員町いいですよと不動産屋さんから聞いたことがあって、若い人が引っ越してくると水道代が何か月か安くなったり、家を建てるとう補助があるとか色々なメリットがあるので、桑名に土地を買うのをやめて、東員町に土地を買うという方向に変わってきたという話があったんですが、最近なくなってきたのではないかなというのがあります。三つ目は自治会が 23 ありますよね。その中で自治会に入っている人と入っていない人の差がわからない、入ってない人でもごみを出すにも困らないし、広報とか町民カレンダーももらえるし、自治会に入っている人だけが、一斉清掃とか班長だとかの役目を負っている、特に団地は高齢者が多くなっているので班長の役割が難しいだとか、班長をやめたいといわれる方が出てきているなかで、これから、防災とか助け合っていかなければいけないので自治会は大事にしていきたいけれど、どういうふうにやっていったらいいのかという意見が出ています。西 2 丁目では防災関係では各家庭の個人情報を班長がまとめて、自治会長が持っています。災害があったときには、無事な時にタオルをかけるとか、そんな試みもしていて、これはすごくいいことだと思います。今は班に入っている方のみですが、だからといって、入っていない方を助けないわけにはいかないの、実際とは違ってきますので、自治会を維持していく必要もありますので町長のお考えも聞きたいという意見もあります。あと、オレンジバスについて、ルートがよく変わるとのこと、役場に行きたくても東員駅で乗り換えで待たなければいけないなどというお話も聞いています。私は利用したことがないので、そういった意見もありますが、いかがでしょう。

町長 桜の木ですが、幹線道路は桜を切って歩道整備をやっていきます。順次やっており、時期はあまり定かではないですが、来年の 11 月頃になるかと思っています。若い人にア

ピールするという中で水道料金は、今現在全国で下から何番目というくらい東員町は安いんです。水質もすごくいいです。浄水場がないので、塩素の濃度も少ないです。それだけきれいなんです。これは東員町の売りだと思っています。若い人にアピールしていく中で子育て支援は三重県一番だと思っています。例えば5歳の幼稚園保育料無料化は三重県で東員町しかやっていません。ほかにも色々やっていて、これは売りになると思っています。定住促進のお金はなくなりました。なぜかという、アンケートをとったのですが、それが決め手ではないんです。やっぱり子育て支援とかで入ってきていただいていたので、これをなくして、政策の中にお金を使っていこうと変えました。自治会の未加入者については、問題になっています。ただ、自治会のメリットは高齢者世帯が増えてきていますので、災害があったときに、自治会加入してもらっていただければいい把握していただいています。しかし入っていただけないと、見落とす可能性があります。できれば入っていただければ見守りということで、自治会の役の問題は自治会の中で解決していただいて、何とか加入していただけるといいのですが、自治会の問題は色々なところで生じています。一番多いのが鳥取で世帯数は700世帯を超えていますが自治会加入は400世帯ほどで6割ほどになっています。この問題はなかなか解決できない問題で、我々も努力していきますが、皆さんにもご協力いただきたいと思います。オレンジバスについては、担当課から説明させていただきます。

政策課長補佐 オレンジバスですが平成26年10月からルートを変えて朝夕便は通勤通学に便利のように、9時から午後5時までは昼間の時間帯に使っていただく方に便利にと東員町のどこにでもいけるような形でルート変更させていただいたのですが、色々苦情が多いのが現実でございます。今バス3台で走らせていただいておりますが、今まであった交通空白地をなくしながら、東員駅を中心にここで乗り換えていただいたらこの方面へもいけるようなルートで走らせていただいておりますが、利用が多いネオポリス地区の方から色々苦情をいただいております。なるべくニーズのある地域に重点を置きながらルートを変更していきたいと思っております。平成28年10月のルート変更に向け色々考えているところでございます。

総務部長 バスの話は今月号の広報にも載せさせていただきましたが、利用者は増えています。新たな利用も増えていますので、皆さんの意見を吸い上げるように工夫をして、検討していきたいと思っております。